

平成 28 年度第 2 回文京区東京 2020 オリンピック・パラリンピック推進本部 次第

日時：平成 29 年 1 月 24 日（火）庁議開催前

場所：庁議室

- 1 文京区東京 2020 オリンピック・パラリンピック取組方針に基づく取組状況について  
【資料第 1 号～第 3 号】
- 2 ホストタウン登録について  
【資料第 4 号】
- 3 東京 2020 オリンピック・パラリンピックに関する課題について  
【資料第 5 号】
- 4 その他  
【資料第 6 号～第 8 号】

資料

---

構成員名簿（平成 28 年 12 月 26 日現在）

【資料第 1 号】 文京区東京 2020 オリンピック・パラリンピック取組基本方針

【資料第 2 号】 東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会へ向けた文京区の主な取組スケジュール

【資料第 3 号】 東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会へ向けた文京区の主な取組状況

【資料第 4 号】 文京区ホストタウン登録について

【資料第 5 号】 オリンピック・パラリンピックに関する課題への対応について

【資料第 6 号】 東京 2020 参画プログラム認証事業報告について

【資料第 7 号】 東京 2020 オリンピック・パラリンピック フラッグツアーについて

【資料第 8 号】 スポーツ振興等事業費補助金及び観光インフラ整備支援補助金の活用状況について

文京区東京2020オリンピック・パラリンピック推進本部  
構成員名簿（庁議構成員）

平成28年12月26日現在

	職名	氏名	
1	本部長	成澤 廣修	区長
2	副本部長	瀧 康弘	副区長
3	副本部長	南 新平	教育長
4		吉岡 利行	企画政策部長
5		渡部 敏明	総務部長
6		八木 茂	危機管理室長
7		林 顕一	区民部長
8		田中 芳夫	アカデミー推進部長
9		須藤 直子	福祉部長
10		椎名 裕治	こども家庭部長
11		石原 浩	文京保健所長(保健衛生部長兼務)
12		中島 均	都市計画部長
13		中村 賢司	土木部長
14		曳地 由紀雄	資源環境部長
15		松井 良泰	施設管理部長
16		山本 育男	会計管理者
17		久住 智治	教育推進部長
18		野田 康夫	監査事務局長
19		佐藤 正子	議会事務局長
20		加藤 裕一	企画政策部 企画課長
21		大川 秀樹	企画政策部 財政課長
22		境野 詩峰	企画政策部 広報課長
23		石嶋 大介	総務部 総務課長
24		辻 政博	総務部 職員課長

# 文京区東京 2020 オリンピック・パラリンピック取組基本方針

平成 27 年 1 月 21 日推進本部決定

## (1) 趣旨

2020 年に向けて、スポーツのみならず、経済や文化、観光、国際交流、教育など、様々な分野で取組が必要であり、大会終了後を見据えながら、全庁一丸となって東京オリンピック・パラリンピックを成功させるための取組基本方針とする。

## (2) 取組の方針

### ① スポーツ、文化を普及し発展させる

- ・アスリートの育成
- ・スポーツの推進
- ・障害者スポーツの普及・促進
- ・歴史、文化の紹介
- ・文化イベントの実施

### ② 国内外からのお客様を迎えるため、観光・商業の活性化を行う

- ・観光促進
- ・商業振興

### ③ 大会に向けて気運を高め、区全体でおもてなしをする

- ・ボランティアの養成
- ・多言語対応
- ・国際理解の推進
- ・心のバリアフリーの推進
- ・学校教育におけるオリンピック・パラリンピックの理解
- ・気運の醸成
- ・協力体制の構築

### ④ 大会を成功させるための準備を行う

- ・練習会場の誘致
- ・バリアフリー化、ユニバーサルデザイン化
- ・多言語化の推進
- ・施設整備、改修
- ・環境整備
- ・防犯、防災の推進

(3) 取組によるレガシー

- ・スポーツ、文化の振興
- ・スポーツ施設の整備・拡充
- ・国内外からの観光客等の増加
- ・文の京の認知度の向上
- ・区内経済の発展
- ・ボランティア制度の確立
- ・区内の協力・連携体制の強化
- ・バリアフリー化などインフラ整備の充実

【区の課題】 1 スポーツ・文化振興 2 観光・商業の活性化 3 気運の醸成 4 練習会場の誘致

Main schedule table with columns for years (2015/H27 to 2020/H32) and rows for various activities like sports, culture, international exchange, and tourism. Includes a 'Legacy' column on the right.

		2015/H27年度 (5年前)	2016/H28年度 (4年前)	2017/H29年度 (3年前)	2018/H30年度 (2年前)	2019/H31年度 (前年)	2020年/H32年度	レガシー	
		4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3	4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3	4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3	4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3	4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3	4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3		
おもてなし	ボランティアの養成	☆おもてなし隊の育成(語学ボランティア) ⇒ 継続して育成			●大会ボランティア・都市ボランティアとの連携			●ボランティア意欲の向上 ●多言語化推進	
		☆スポーツボランティアの育成(再掲) ⇒ 継続して育成・拡大		★バックアップーズ					
	多言語対応	☆庁内留学inBUNKYO ⇒ 継続して育成							
		☆多言語化サポート事業 ●役所手続き書類の多言語化(英中韓) ★商店街HP多言語化(再掲)							おもてなし活動の最大化
		●多言語観光案内リーフレットの作成 ●ミュージックマップ(英語版)作成							
	☆文京区版対訳表作成(随時更新) ●森鷗外記念館解説多言語化 ☆B-ぐるまマップ 外国語版作成								
心のバリアフリーの推進	●ふれあいの集い								
教育・子ども	体力・言語力の向上	☆英語力向上事業 ⇒ 継続 ⇒ 拡大		★英語力向上推進事業					
		☆健康・体力増進事業 ⇒ 継続							
	オリパラの理解	☆1日校長先生 ⇒ 継続して実施 ⇒ 継続して実施							
	●リハビリ・パラリハビリ教育推進校 ●区立全校に拡大 ☆学校給食での和食文化の継承・紹介(再掲)								
		●オリパラに向けた図書充実 ⇒ 継続収集							
気運醸成	気運の醸成	☆キックオフイベントの開催 ☆気運醸成プロジェクト(PRイベント、気運醸成補助事業等)							
		●野球・ソフトボール復活への取組							
			●壮行会 ●メダル報告会 ●フラッグ装飾						
			●参画プログラムの推進 →→→→→→→→→→→→→→→→				●参画プログラム最大の盛り上がりへ		
			★カウントダウンプログラム						
	発信	☆B2F区民ひろばにぎわい化計画(マルチビジョン改修) ⇒ 活用によるにぎわい化							
		★こども新聞 ○アスリート支援							
協力体制の構築	●大学等との連携 一層強化		●協議会の準備・設立						
まちづくり	バリアフリー・ユニバーサルデザイン	☆バリアフリー基本構想	☆バリアフリー基本構想重点整備地区別計画 ●施設等のバリアフリー化					●連携体制の強化 ●インフラ整備の充実 ●外国人にやさしいまちづくり	
	多言語化の推進	☆B-ぐるまの外国語表記整備 ○停留所の板面更新							
		☆区内統一案内標識の多言語化及び設置 ●区有施設及び区内の多言語対応(随時更新)							
		●ごみ出しリーフレットの多言語(4か国語)							
	施設整備・改修		●自転車道整備(測量調査) ●関係機関調整		●整備工事				
	環境整備	●公衆無線LAN検討 ☆公衆無線LAN環境整備(~H31) ★商店街Wi-Fi整備(再掲)							
			☆自転車シェアリング ○実証実験 ★サイクルポート設置						
				★歩行喫煙等禁止の周知・啓発					
			●公衆・公園等トイレの整備 ★整備工事・次年度工事実施設計						
	防犯・防災の推進	☆避難所表示板の多言語対応							

【記号説明】 ☆…過年度重点施策 ★…29年度重点施策 ○…重点施策内での取組 ●…重点施策以外の事業、または今後想定できるもの  
【用語説明】 BJAA…文京ジュニア・アスリート・アカデミー、 PV…パブリックビューイング

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた文京区の主な取組状況 (H28.12月調査)

平成29年1月24日現在

資料第 3-1 号

フェーズ	取組項目	取組・事業例	所管課	実施期間	平成28年度 取組状況 (29年1月10日時点)	平成29年度以降取組予定
スポーツ	アスリート育成	ジュニア・アスリート・アカデミー(BJAA)	スポーツ振興課	平成26年度～	子どもたちがスポーツを通じて様々な経験を重ね、将来アスリートとして活躍するという夢に向けた一歩を応援する2年1期の事業で、第2期1年目を実施した。(受講生41名) 月に2回程度講習会を実施、保護者向けの講座を2回、子ども向けの食育講座を1回実施した。	第2期2年目 28年度は2年1期の1年目の為、基礎的な運動能力の強化を中心に実施したのに対し、2年目にあたる29年度は、様々な種目の体験を取り入れた講習会を実施予定
	スポーツの推進	オリンピック・パラリンピアン等によるスポーツ教室	スポーツ振興課	平成27年度～	オリンピック・パラリンピアン等によるスポーツ教室の実施 ・手倉森誠氏のサッカー教室(1月)	実施予定(講師・テーマ等については調整)
		オリンピック・パラリンピアン等による講演等による啓発、理解促進	スポーツ振興課	平成27年度～	オリンピック・パラリンピアン等による講演会の実施 ①スポーツボランティア特別講座(12月) ②スポーツ振興講演会 ジャイアンツと東京ドーム(2月)	実施予定(講師・テーマ等については調整)
		パブリックビューイング	スポーツ振興課	平成26年度～	トップレベルの大会のパブリックビューイングの実施 ・リオ2016オリンピック・パラリンピック競技大会パブリックビューイング ・2018男子サッカーワールドカップのアジア最終予選パブリックビューイング	2018男子サッカーワールドカップのアジア最終予選や平昌冬季オリンピック・パラリンピックのパブリックビューイングを実施予定
		女子サッカークラブ応援	スポーツ振興課	平成27年度～	文京区唯一の地域密着型女子クラブチーム「文京LBレディース」を応援する事業として、下記内容を実施した。チームは、東京都リーグ4部リーグを2位となり、次年度の昇格をつかんだ。 ①毎月第4木曜日にJFATレセンコーチの派遣 ②各体育施設等におけるチラシの配布及びポスターの掲示	28年度同様に実施予定
	ボランティアの養成	スポーツボランティアの育成	スポーツ振興課	平成27年度～	支えるスポーツとして、スポーツイベント等を支援するボランティア事業の実施 ・登録者数:226名 ・実施事業数:23 ・従事人数:延べ173名(障害福祉課紹介のボランティア含む) ・おにもスポーツボランティア登録者を対象とした養成講座の実施(7回)	スポーツボランティアの周知、登録、活動、育成を引き続き実施予定 29年度からは、近隣区へのボランティア派遣や障害者のボランティア登録・従事を実施予定
	障害者スポーツへの取組	「体育の日」等における「障害者スポーツ用車いす試乗体験」等	障害福祉課	平成26・27年度	平成28年度は実施なし	実施予定なし
		共生のための文京地域支援フォーラム	障害福祉課	平成26・27年度	平成28年度に実施したフォーラムは、オリンピック・パラリンピックとの関連なし	実施予定なし
		個人利用促進事業	スポーツ振興課	平成27年度～	障害者が個人でスポーツ施設を利用できるサポート事業の実施 ・平成28年12月末までに計13回実施済み。(28年度は18回実施予定)	28年度同様に実施予定
		パラリンピック気運醸成事業 ～ブラインドサッカーの普及振興～	スポーツ振興課	平成28年度～	ブラインドサッカー普及振興を目的とした事業の実施 ①スポ育(学校の授業におけるブラインドサッカー体験)を9校で実施 ②ブラインドサッカー体験及び東日本リーグ第5節の試合観戦を実施	28年度同様に実施予定
関係団体等連絡会設立、環境の整備		スポーツ振興課	平成26年度～	障害者スポーツ事業推進のため、関係部署・団体による連絡会の実施 ・1月～2月実施予定	28年度同様に実施予定	

フェーズ	取組項目	取組・事業例	所管課	実施期間	平成28年度 取組状況 (29年1月10日時点)	平成29年度以降取組予定
	練習会場の誘致	スポーツセンター改修実施設計	スポーツ振興課	平成27年度～平成28年度	平成28年10月末を以て実施設計を終了した。	事業終了 →改修工事に移行
		スポーツセンター改修	スポーツ振興課	平成28年度～平成30年度	平成28年10月末を以て実施設計を終了し、29年3月より改修工事に着工予定	平成29年3月～平成30年5月…改修工事 平成30年6月中…リニューアルオープン
文化	歴史・文化の紹介	文京区ポスコン ～ 伝統文化をもっと知ろう！～	アカデミー推進課	平成28年度～平成32年度	各種つどい・大会のポスターのデザイン案を広く区民等から募集した。 7～10月 作品募集、11月 作品選考・選出 12月～ 受賞作品を元にチラシ等作成、事業周知	平成28年度の実施結果を踏まえ、平成29年度も実施予定
		3区文化資源地図の制作	アカデミー推進課	平成27年度～	東京文化資源会議、千代田区、台東区と連携した下記事業の実施 ・多様な文化資源関連地図を収集し、データベース化 ・三区内の公共交通機関を活用した広域的な観光ルートマップの作成の検討 ・明治期の神田祭の巡行路や当時の街の様子をビジュアル的に紹介する地図の検討	平成28年度に作成したデータベースを基に、スマートフォン向けアプリ等で電子地図として公開していく。地図データは、随時追加・更新を行っていく。
		学校給食における和食文化の継承と紹介	学務課	平成28年度～平成32年度	ユネスコ無形文化遺産登録された和食について、和食の日と制定された11月24日を基本として全校統一献立で和食の日給食を実施した。相互協力に関する協定を締結している魚沼市産のコシヒカリと、日本茶を味わい、米づくりと緑茶について学習した。	各学期に1回「和食の日」を給食に取り入れ、日本の食文化について理解が深まるよう、食育の充実を図る。日本料理「賛否両論」の店主笠原将弘氏による監修を受けて江戸東京野菜を使用した献立を作成し、講習会を開く。和食の保護・継承と、情報発信できる子供を育成する。
	文化プログラムの実施	アカデミー推進課	平成28年度～平成32年度	東京2020大会に向けた文化プログラムの一環とした文化芸術事業の実施 「日本の響き、世界の調べ」～東京2020オリンピック・パラリンピックに向けて～ 第1回「日本と韓国(12/11開催)	平成29年度は第2回を開催予定	
	文化イベントの実施	アカデミー推進課	平成28年度	東京2020大会に向けた文化プログラムの一環とした伝統文化再発見事業の実施 「能楽”寺子屋～能の世界を学んで体験！～」を文京アカデミア講座で実施(H28.5月)	28年度単年度事業終了	
	文化発信プロジェクト	アカデミー推進課	平成18年度～	文京区と協定を締結している他自治体や、全国規模の文化事業を企画する団体等と協働して「文の京」に相応しい、文化・芸術・教育活動参加への機会を区民に対して提供する。 ・「啄木学級」(盛岡市との交流事業)7月1日実施 ・「かなざわ講座」(金沢市との交流事業)1月18日実施 ・「石見神楽公演」(津和野町ほか高津川流域自治体との交流事業)2月4日実施予定	29年度は左記事業に加え、魚沼市との交流事業(キッズミュージカル)やNHKとの協働による文化関連講演会を実施予定	
国際交流	国際理解の推進	海外交流都市探検ツアー	アカデミー推進課	平成28年度	平成29年5月にツアー実施予定で準備中	平成29年5月に姉妹都市カイザースラウテルン市を訪問する予定



フェーズ	取組項目	取組・事業例	所管課	実施期間	平成28年度 取組状況 (29年1月10日時点)	平成29年度以降取組予定
観光・商業	観光促進	新江戸川公園周辺地域の魅力創出事業	アカデミー推進課	平成27・28年度	永青文庫夏季展として開催された『歌仙兼定登場』に合わせ、展示品である「刀 濃州関住兼定作」(通称:歌仙兼定)に因んだ「刀剣乱舞-ONLINE-」と文京区とのコラボレーションを実施した。 期間:7月9日～9月19日 内容:「刀剣男士 歌仙兼定」等身大パネル等の展示、スタンプラリーの実施 参加人数:約12,000人	平成28年度事業終了
		観光案内標識の管理	アカデミー推進課	平成27年度～平成32年度	観光担当が管理する観光案内標識について、道路課とも協議し維持管理の方針案を策定した。今後は、区案内標識統一化計画の原則に則り集約を行い、残置する標識については、多言語対応や清掃等の維持管理を行う。	適時板面修正や清掃等の維持管理を実施する。
		観光案内標識の板面更新	アカデミー推進課	平成28年度	平成29年1月末に、東京メトロ後楽園駅及び東大前駅並びに御茶ノ水駅設置の計3基について板面更新を実施する。	未定
		新たな観光PRポスターの作成及び駅貼り広告の実施	アカデミー推進課	平成28年度～	ポスターの作成については、使用する観光写真を選定し、デザインのラフイメージを作成中。地下鉄駅構内での掲出については、3月中旬の実施を予定している。	未定
		文京区観光協会HPリニューアルへの補助	アカデミー推進課	平成28年度	平成29年3月末のHPオープンに向けて、サイト構築やデザインの調整を行っている。	平成28年度事業終了
		展望ラウンジ観光拠点化事業	アカデミー推進課	平成28年度～	文京シビックセンター25階展望ラウンジにおいて、お酒を楽しめるイベントを実施した。 ・イベント名称:Sky View Lounge BAR ・日時:平成28年11月18日～20日 ・内容:区観光土産推奨品に選ばれた区内ビール製造企業等と連携し、ビール、ワイン、おつまみ等を夜景とともに楽しめるイベント ・来場者数:約3,800名、来場者満足度:約95パーセント	平成28年度実施内容及びアンケート結果を踏まえ、平成29年度も同様のイベントを実施予定
		商業振興	商店街エリアプロデュース事業	経済課	平成28年度～平成32年度	地域活性化のため、商店街専門プロデューサーを配備し、商店街における活動等支援を実施した。 ・重点エリアの選定、商店街商圈分析の実施、プロデュース
飲食店等外国人対応の検討(ハラル対応等)	経済課		平成26年度～	ウェルカム商店街へ移行	ウェルカム商店街へ移行	
ウェルカム商店街	経済課		平成28年度～平成32年度	外国人旅行者等に対応できるよう、商店街の外国人対応力強化の支援を実施した。 平成28年8月 補助金交付申請受付を開始 平成28年8月 区内商店向けに外国人おもてなしセミナーを開催	補助金交付申請受付(通年) 区内商店向けに外国人おもてなしセミナーを開催	
おもてなし	ボランティアの養成	おもてなし隊の育成(語学ボランティア)	アカデミー推進課	平成27年度～	区民を対象とした、語学ボランティア育成事業の実施 ・「外国人おもてなし英会話講座」各8回全5回開講予定 ・「外国人おもてなし語学ボランティア育成講座」(1回実施、あと2回実施予定) ・「外国人おもてなしカレベルアップ交流会」1回	・「外国人おもてなし英会話講座」各8回全5回開講予定 ・「外国人おもてなし語学ボランティア育成講座」4回実施予定 ・外国人おもてなしカレベルアップ交流会 1回実施予定
		スポーツボランティアの育成(再掲)	スポーツ振興課	平成27年度～		

フェーズ	取組項目	取組・事業例	所管課	実施期間	平成28年度 取組状況 (29年1月10日時点)	平成29年度以降取組予定
	多言語対応	庁内留学inBUNKYO	職員課	平成27年度～平成32年度	区職員に対する英会話研修の実施 ・グループレッスン、マンツーマンレッスン+CD教材による自習 【前期】28年5月～8月(受講者19名) 【後期】28年9月～12月(受講者20名)	前年度(28年度)の研修効果を検証し、内容を改善しながら同様の研修を実施予定
		多言語化サポート事業	アカデミー推進課	平成27年度～	戸籍住民課、国保年金課の外国人が使うことの多い、手続き書類を英中(簡体・繁体)韓に翻訳する委託契約を依頼中	全庁から、外国人が使うことの多い手続き書類を取り上げて、多言語化を行う予定
		Bーぐるルートマップ外国語版作成	区民課	平成27年度～	・Bーぐるマップ英語版を作成、区内のホテルや地下鉄の駅、主な文化施設などに配布 ・バス停留所の日本語・英語併記に伴う板面取替は、バス事業者により平成28年中に終了	・Bーぐるマップについては、発行部数の増や、他の言語の併記など、今後の動向を見ながら対応 ・バス停留所は他言語を表記するスペースがないため、当面は現行通り2か国語標記の予定
		多言語観光案内リーフレットの作成	アカデミー推進課	平成27年度～平成32年度	区内の名所・旧跡を紹介する観光マップ「おさんぼくん」及び区内の厳選した飲食店を紹介するリーフレット「おいしゅうございまっぷ」を多言語で増刷 【発行実績】 ・おさんぼくん: 日本語80,000部、英語10,000部、中国語(簡体字)5,000部、中国語(繁体字)5,000部、ハングル3,000部 ・おいしゅうございまっぷ: 日本語32,000部、英語4,000部 ※平成10年度以前より定例で実施している事業	29年度以降も引き続き、日英中韓の多言語で作成予定 30年度以降、内容・デザインのリニューアルを行う予定
	心のパラフリーの推進	ふれあいの集い	障害福祉課	平成22年度～	平成22年度より、ふれあいの集いにおいて障害者スポーツである「ポッチャ」のデモンストレーションを実施している。 ※ふれあいの集いは、22年度以前より実施	29年度も引き続き実施する予定
教育・子ども	体力・言語力の向上	英語力向上事業	教育指導課	平成26年度～平成29年度	・小学校第1学年から第4学年の教材を計画的に活用し、コミュニケーションの素地の育成を図っている。 ・小学校外国語活動全予定実施時数の約3分の2を実施 ・小・中学校ともに、外国人英語指導員を活用し、実践的な活動を通して、コミュニケーション能力及び英語力の伸長を図っている。 ・英検を平成28年6月と10月に実施。また、平成29年1月にも実施する予定	・小学校第5学年及び第6学年でパフォーマンステストを実施。英語の教科化に向けて準備を進める。 ・英検の公費負担について、級を拡大(1級及び準1級)する。
		健康・体力増進事業	教育センター	平成27年度～平成31年度	・全小学校への健康トレーナーによる巡回相談、体力向上推進プランの作成とプランに基づくPDCA、体力向上指導員を各校10回、体力向上アドバイザーを各校1回派遣 ・体力向上イベントの開催(3回実施、3月末までにあと1回実施) ・健康教室の開催(2回実施、3月末までにあと1回実施) ・がん教育のための専門医派遣、小学校教員対象体力向上実践報告会の開催 ・全幼稚園における体力調査、体力向上アドバイザーの派遣	【幼稚園】体力調査の実施、体力向上アドバイザー派遣 【小学校】体力向上推進プランの作成とPDCA、体力向上指導員、体力向上アドバイザー派遣、健康トレーナーによる巡回相談、体力向上実践報告会の開催 【小・中学校】がん教育のための専門医派遣 体力向上イベント、健康教室の開催
	オリンピック・パラリンピックの理解	1日校長先生事業	教育指導課	平成27年度～平成29年度	アスリートを一日校長先生として招へいし、児童生徒とふれあう事業の実施 ・小学校7校、中学校1校で実施済み。1月中に中学校2校が実施予定 ・児童、生徒は、アスリートとの交流やアスリートの講演を通して、「運動の楽しさ」「努力することの大切さ」「感謝の気持ちをもつこと大切さ」「支えあうことの大切さ」等について学んでいる。	・小学校6校、中学校4校で実施予定

フェーズ	取組項目	取組・事業例	所管課	実施期間	平成28年度 取組状況 (29年1月10日時点)	平成29年度以降取組予定
		オリンピック・パラリンピック教育推進校	教育指導課	平成27年度～平成29年度	オリンピック・パラリンピック教育について、全幼稚園及び小、中学校で実施 ・各教科等の学習内容、学習活動とオリンピック・パラリンピックを関連付けた取組を展開	・小、中学校では、年間指導計画に基づき、各学年年間35時間程度、計画的、組織的に取り組む。 ・「オリンピック・パラリンピックの精神」「スポーツ」「文化」「環境」の4つのテーマと「学ぶ」「観る」「する」「支える」の4つのアクションを組み合わせた多様な取組を展開する。
		学校給食における和食文化の継承と紹介(再掲)	学務課	平成28年度～平成32年度		
		オリンピック・パラリンピックに向けた図書の充実	真砂中央図書館	平成28年度～平成32年度	・外国語図書及びオリンピック・パラリンピック関連図書の収集 ・オリンピック・パラリンピックや開催国(ブラジル)に関する図書の特集展示の実施	外国語図書及びオリンピック・パラリンピック関連図書の充実を図り、情報発信していく。
気運醸成	気運の醸成	キックオフイベントの開催(東京2020大会気運醸成プロジェクト)	アカデミー推進課・スポーツ振興課	平成27年度～平成32年度	気運醸成プロジェクトへ移行	
		まつり等気運醸成PR活動(東京2020大会気運醸成プロジェクト)	アカデミー推進課	平成28年度～平成32年度	区内で開催されるまつりにおける、PRイベントの実施 ・海外文化の紹介(つつじまつり、あじさいまつり、朝顔・ほおずき市、根津・千駄木下町まつり) ・パラスポーツ等の紹介(菊まつり、梅まつり)などを実施	まつり事業において、引き続き、オリンピック・パラリンピックPRブースやパフォーマンス等で気運を高める事業を実施する。
		リオデジャネイロ大会応援イベント(東京2020大会気運醸成プロジェクト)	アカデミー推進課	平成28年度	リオ2016大会の気運を高めるイベントを実施した。 ・事業名:『文京区「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」気運醸成事業 リオから楽しもう!』 ・日時:7月17日 ・会場:小ホール ・内容:第1部オリンピックアクトショー、第2部サンバパフォーマンス	実施なし (平昌冬季大会への移行を検討)
		オリンピック・パラリンピック気運醸成補助事業(東京2020大会気運醸成プロジェクト)	アカデミー推進課	平成28年度～平成32年度	区内団体が実施するオリンピック・パラリンピック気運醸成事業に対する助成事業を開始した。 8月補助金交付要綱制定、8月25日号区報周知、補助金申請受付開始	29年度も継続実施予定
		野球・ソフトボール復活への取組	アカデミー推進課	平成27年度～平成28年度	野球・ソフトボールの競技復活が決定したが、東京ドームが競技会場とならないため、単独イベントの実施は行わない。	個別イベントの実施はなし
	発信	B2F区民ひろばにぎわい化計画(マルチビジョン改修)	経済課	平成27年度～	随時、各所管課から依頼された区からのお知らせ等をマルチビジョンで放映した。 オリンピック・パラリンピック等のイベントでも活用	区からのお知らせや区民ひろばで実施するイベント等でマルチビジョンを活用する。
	協力体制の構築	大学等との連携 一層強化	アカデミー推進課	平成27年度～平成32年度	・地域連携担当者会議(7/8)でアスリート紹介情報の更新、オリンピック・パラリンピックの情報提供、周知 ・東洋学園大学「文部大臣・学長愛知揆一と1964年オリンピック東京大会」オープニングセレモニーに出席(7/22) ・文京区内大学学長懇談会テーマ「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた取り組みについて」(1/13)	・ポスター、チラシなど掲出、配布など相互で周知する。
		協議会等の準備・設立・運営	アカデミー推進課	平成29年度～		区民団体との情報交換の場としての協議会等を設立する。

フェーズ	取組項目	取組・事業例	所管課	実施期間	平成28年度 取組状況 (29年1月10日時点)	平成29年度以降取組予定
まちづくり	バリアフリー・ユニバーサルデザイン	バリアフリー基本構想	都市計画課	平成26年度～平成37年度	都心地域及び下町隣接地域における重点整備地区別計画を平成29年3月に策定予定 本計画の検討にあたっては、区民参加によるまち歩きワークショップを行い、より具体的な課題をふまえた特定事業(具体的なバリアフリー事業)を設定した。	山の手地域における重点整備地区別計画を策定する。 都心地域及び下町隣接地域における特定事業の進捗状況の管理を行う。
	多言語化の推進	「Bーぐる」の外国語表記整備	区民課	平成27・28年度	・Bーぐるマップ英語版を作成、区内のホテルや地下鉄の駅、主な文化施設などに配布 ・バス停留所の日本語・英語併記に伴う板面取替は、バス事業者により平成28年中に終了	・Bーぐるマップについては、発行部数の増や、他の言語の併記など、今後の動向を見ながら対応 ・バス停留所は他言語を表記するスペースがないため、当面は現行通り2か国語表記
		区内統一案内標識の多言語化及び設置	道路課	平成27年度～平成31年度	多言語に対応した区内統一案内標識を15基設置予定	平成31年度まで毎年実施
		区有施設及び区内の多言語対応	広報課	平成27年度～	随時の更新を行っている。	随時の更新を行う予定
	施設整備・改修	自転車道整備	道路課	平成28年度～平成31年度	測量調査・設計委託を進めている。	29年度：関係機関調整 30～31年度：整備工事
		公衆・公園等トイレの整備	みどり公園課	平成28年度～32年度	平成28年度に行った各トイレの現況調査の結果等をもとに、公衆・公園等トイレの整備方針を作成中であり、優先整備箇所4か所については実施設計を進めている。	平成28年度に作成した整備方針に基づき整備を行う。 平成29年度～32年度 設計・施工
	環境整備	公衆無線LAN検討	情報政策課	平成27年度～	公衆無線LAN検討会で、来年度以降に設置する基準を設け、「観光施設」「防災施設」「集会施設、その他施設等」と分類し、今後も継続して公衆無線LAN設備を設置していくことが決まった。	今後も検討会で、既存の公衆無線LAN利用状況等を参考に、新たな設置場所を選定する。
		公衆無線LAN環境整備	情報政策課	平成28年度～	平成28年9月に、国内外の観光客の集客が見込まれる区有施設6施設等で、個人所有の端末を使い、一定期間インターネット接続が無料で利用できる公衆無線LAN設備を設置し、サービスを開始した。また、一部区内店舗等の協力により既存公衆無線LANから区のSSIDを発信して、区内での利用範囲の拡大を行った。	設置基準に基づき、今後も継続して設置していくとともに、区内店舗等と連携して無料公衆無線LANの利用範囲拡大を目指していく。
		自転車シェアリング事業	管理課	平成28年度～平成30年度	平成29年1月23日から実証実験開始	平成29年1月23日開始の実証実験について、効果検証を実施し効率的なサイクルポートの配置や自転車等設備の拡充を図る。
		外国人への歩行喫煙等禁止の周知・啓発	環境政策課	平成29年度～	路面シート、ステッカー、プレートなどの掲示物や、ポケットティッシュ、チラシ等の配布物について、やさしい日本語や絵文字を使用した新デザインを検討している。	屋内喫煙所設置助成を追加して、29年度重点施策となった。H29年度は事業名を「歩行喫煙等禁止の周知・啓発」に変更し移行する。
防犯・防災の推進	避難所表示板の多言語対応	防災課	平成27・28年度	区内33か所全避難所について、4か国語対応の避難所表示板を設置した。平成29年1月中に従来より複数枚の表示板が設置されている避難所については、設置数が充足するよう対応する。	平成28年度事業終了	

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた文京区の主な取組状況 (新規掲載事業)

平成29年1月24日現在

資料第 3-2 号

フェーズ	取組項目	取組・事業例	事業概要	所管課	実施期間	H29 重点
スポーツ	スポーツの推進	スポーツ推進事業(オリンピック・パラリンピック推進)	東京2020大会に向けて、スポーツを通じた気運醸成を図りつつ、スポーツを推進する。	スポーツ振興課	平成28年度～	
		文の京スポーツネットワーク事業	区内スポーツ関係団体等の横断的な会議体を設立し、複数の団体や企業によるイベントやスポーツ教室、教養講座等の提案や企画を行う。	スポーツ振興課	平成29年～	
	障害者スポーツへの取組	パラスポーツの理解促進	パラリンピックと通じた障害者スポーツの理解促進のため、様々な障害者スポーツを体験・紹介する機会を設ける。	スポーツ振興課	平成28年～	
文化	歴史・文化の紹介	「かるたの街 文京」を発信!	漫画「ちはやふる」の人気で注目が高まっている「小倉百人一首かるた」を活用した事業を、全日本かるた協会や「ちはやふる」の著作権を持つ講談社を区内に有する地域特性を活かし、文化・観光・国際交流の各方面から展開する。	アカデミー推進課	平成29年度～	★
		I don't know(能)・・・No(能)problem! ～みんなで親しむ「能(Noh)」プロジェクト～	親と子、祖父母と孫などで参加することで、家族みんなで能に親しみ、理解を深めてもらうイベントを開催する。子ども達にも能に興味を持ってもらえるよう、「鑑賞」と「体験」を交えたプログラムで実施し、「高尚で難解」という能に対するイメージを刷新する。	アカデミー推進課	平成29年度～	★
		文京区秋の文化祭 区制70周年記念イベント	文京区秋の文化祭会期中に、華道・茶道・書道・絵画に関連した記念イベントやワークショップを実施し、日本の伝統文化を幅広く区民に紹介する。	アカデミー推進課	平成29年のみ(予定)	
	文化イベントの実施	区制70周年記念 文京ミューズフェスタ2017	「文の京ミュージアムネットワーク(略称:文京ミューズネット)」は、文京区内の美術館・博物館・庭園などの文化施設により構成されている。「文京ミューズフェスタ」は、文京ミューズネットの合同イベントとして毎年開催しており、各施設による体験コーナーや、資料展示を行っている。平成29年度は、区制70周年記念イベントとして位置づけ、内容を通常よりレベルアップして実施する。	アカデミー推進課	平成19年～	
国際交流	国際交流	ドイツ・カイザースラウテルン市姉妹都市提携30周年記念事業	ドイツ・カイザースラウテルン市とは平成30年で姉妹都市提携30周年の節目となるため、それを記念してカイザースラウテルン姉妹都市交流周年事業を関係各課と連携して実施する。	アカデミー推進課	平成29年度～	★
	ホスタウン	ホスタウンの推進	ドイツと相手国としたホスタウン交流計画を進めていく。	アカデミー推進課	平成29年度～	
観光・商業	観光促進	吾輩探訪 ～漱石が過ごした文京・新宿を辿る～	新宿区と文京区共通の文化資源である「夏目漱石」をテーマとした観光イベントを行うことにより、両区の観光客の周遊を促進するとともに、2020年に向けた観光面における隣接区との連携体制を強化する。	アカデミー推進課	平成29年度	★
		文京区デジタルジャーニー	文京シビックセンター25階展望ラウンジをはじめとする、区内の観光スポット等で楽しむことができるAR(拡張現実)等を活用した多言語観光アプリケーションを制作し、区の魅力を発信する。	アカデミー推進課	平成29年度～	★
		サブカルチャーによる観光資源の魅力発信	漫画やアニメーション等のいわゆるサブカルチャーとの連携を進め、人気コンテンツを活用して文京区の観光資源の魅力を生かす側面から発信する。	アカデミー推進課	平成29年度～	★
		商店街Wi-Fi環境の整備	区内商店がWi-Fiを整備する際の費用の一部を助成し、商店会のWi-Fi環境を整備し、訪日外国人観光客等にSNS環境を整え利便性を向上させ、インバウンドの取り込みを図る。また、商店にBunkyo Free Wi-Fi電波を受信させることにより、区内のWi-Fi環境安定化の一助とする。	経済課	平成29年度～	★

フェーズ	取組項目	取組・事業例	事業概要	所管課	実施期間	H29 重点
	商業振興	「来て見て体験」文京の伝統工芸	東京2020大会に向け、ものづくりに関心のある区民や国内外観光客の集客と、伝統工芸会の活性化を目的として、エリアプロデュース事業や観光事業と連携して伝統工芸イベントを実施する。	経済課	平成29年度～	★
		下町の魅力発信事業	下町エリアを訪れた観光客に買物しやすい情報をマップ形式で提供し、商店で働く区民と観光客のコミュニケーションの一助にするとともに、国内外の観光客の消費を喚起し、商店街を活性化させる。(根津エリア)	経済課	平成29年度～	★
		商店街HPの多言語化事業	商店街で観光客向けに行う体験型のイベント(例えば、折り紙体験、日本茶の入れ方など)やおすすめ商品等を掲載する等、商店街がHPの内容を充実させるとともに、英語版も作成する。エリアプロデュース事業と連携して実施することで、民間事業者の情報発信力を活用しながら、インバウンドの取り込みや国内観光客の集客増を図り、商店街を活性化させる。(白山上向丘エリア)	経済課	平成29年度～	★
おもてなし	ボランティアの養成	「文京バックアップーズ」～大学生ボランティアのススメ～	区内在住在学の大学生等に対してO2O(オンラインtoオフライン)の手法を活用したボランティア活動への参加を促す仕組みを構築する。ボランティアへの興味関心を高め、実際に活動する人材を多く生み出すことに加え、これまで行政とつながりにくかった大学生とのコミュニケーション手段を獲得する。	アカデミー推進課	平成29年度～	★
	多言語対応	文京ミュージズネットマップ 英語版の発行	文京ミュージズネット加入施設(区内の美術館・博物館・庭園)の基本情報等を掲載した、街歩き用のマップの発行。区内外に幅広く配布し、ミュージズネットの効果的な周知を図っている。 東京2020大会開催による外国人観光客の増加を見据えて、今年度から新たに英語版を作成する。	アカデミー推進課	平成28年～	
		森鷗外記念館解説の多言語化	森鷗外記念館の展示室にて、森鷗外の生涯・活動を紹介するコーナーにおける、解説バナー11本の多言語化を行う。	アカデミー推進課	平成28年度	
気運醸成	気運の醸成	東京2020参画プログラムの推進	全庁で取り組んでいるオリンピック・パラリンピックに関連する事業について、東京2020参画プログラムへの申請の支援及び認証を推進する。	アカデミー推進課	平成28年～	
		オリンピック・パラリンピック気運醸成事業	東京2020大会に向けた、各種気運醸成事業を実施する。	アカデミー推進課	平成28年～	
		東京2020大会 カウントダウンプログラム	東京2020大会に向けて、多くの区民が自ら参加し、新たなつながりや地域の連携を生み出すことができるよう、スポーツだけでなく、文化も包括したカウントダウン事業を展開し、大会への気運醸成及び競技種目等の周知による理解促進を図る。	アカデミー推進課	平成29年度～	★
	発信	突撃・応援! (仮称)オリンピック・パラリンピック子ども新聞	東京2020大会に向けて、小・中学生を記者としたオリンピック・パラリンピックをテーマとする「区報ぶんきょう特集号」を発行し、参加した小中学生のオリンピック教育とともに、広く区民に向けたオリンピック・パラリンピックの気運を醸成する。合わせて、区にゆかりのあるアスリートで、京2020大会の出場を目指す選手を取り上げ、区全体でサポーターとなる。	アカデミー推進課	平成29年度～	★
まちづくり	多言語化の推進	ごみと資源の分け方・出し方(4ヶ国語版)	文京区におけるごみと資源の排出方法を記載したリーフレットを作成し、区民等に配布することにより、ごみと資源の適正排出の徹底を図る。(日本語・英語・中国語・韓国語)	リサイクル清掃課	平成20年度～	
		自転車シェアリング事業実証実験	自転車シェアリングの導入に向け、サイクルポートの利用状況や交通行動の実証実験を行う。	管理課	平成28年～	★
	環境整備	歩行喫煙等禁止の周知・啓発	路面シート、ステッカー、プレートなどの掲示物や、ポケットティッシュ、チラシ等の配布物について、やさしい日本語、やさしい英語、ピクトグラム(絵文字)等を活用して表示することにより、外国人にも理解できるように周知する。また、指導員が巡回している地域の巡回回数を増やす。 屋内喫煙所設置助成については、民間事業者または区民が、誰もが無料で利用することができる屋内喫煙所を設置する場合の助成を行う。	環境政策課	H28年～	★

## 文京区ホストタウン登録について

### 1 ホストタウンとは

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向け、スポーツ立国、グローバル化の推進、地域の活性化、観光振興等に資する観点から、参加国・地域との人的・経済的・文化的な相互交流を図る地方公共団体を「ホストタウン」という。

ホストタウンとして登録する地方公共団体は、住民等と①大会等に参加するために来日する選手等との交流②大会参加国・地域の関係者との交流③日本人オリンピック・パラリンピアンとの交流を行う。また、前記に伴い行われる取組であって、スポーツの振興、教育文化の向上及び共生社会の実現を図る。

### 2 文京区ホストタウン登録の流れ

平成28年10月19日 オリンピック・パラリンピック推進本部において審議  
 平成28年10月27日 ホストタウン第三次登録申請  
 平成28年12月1日 ドイツ大使館訪問、ホストタウン登録申請について説明  
 平成28年12月9日 登録結果公表、ドイツを相手国とした登録が決定

### 3 ホストタウン登録件数

	受付期間	公表日	審査対象		登録	
			新規申請分	継続審査分	新規申請分	継続審査分
第1次登録	H27.11.2 12.11	~ H28.1.26	69件		44件	
第2次登録	H28.2.26~5.19	H28.6.14	58件	25件	41件	6件
第3次登録	H28.9.2~10.28	H28.12.9	65件	36件	36件	11件
					138件	

※平成29年度も、引き続き登録を実施予定（年に複数回）

※第三次登録で、団体数186（複数の自治体による共同申請含む）、相手国・地域数が63。

#### （参考1）ドイツを相手国としている自治体 11団体（複数の自治体による共同申請含む）

鶴岡市（山形県）、青梅市（東京都）、上越市（新潟県）、山梨市（山梨県）、豊橋市（愛知県）、那賀町（徳島県）、田川市（福岡県）、宮崎県・宮崎市・延岡市・小林市（宮崎県）

#### （参考2）東京都ホストタウン登録自治体

- ・武蔵野市／ルーマニア（第一次登録）
- ・調布市／サウジアラビア（第一次登録）
- ・世田谷区／アメリカ（第二次登録）
- ・町田市／南アフリカ（第二次登録）
- ・文京区／ドイツ（第三次登録）

### 4 文京区ホストタウンの今後のスケジュール

平成29年3月末 ホストタウンへの取組みスケジュールの作成  
 平成29年4月～ 関係各課へのヒアリング等  
 平成29年5月 区長ドイツ訪問  
 平成29年8月 ドイツ大使館オリエンテーション参加  
 ホストタウン交流事業の推進

# ホストタウン（第三次登録）の分布について

ホストタウン第三次登録の概要（内閣府東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会推進本部事務局より抜粋）



## (参考2) 第一次・第二次登録団体





	公式練習会場	事前キャンプ	ホストタウン構想
概要	競技ごとに指定され、各国の当該競技の選手が、大会前及び大会中に練習を行う会場。大会の構成の一部となる。	大会に参加するアスリートのコンディション調整やパフォーマンス維持等のため、NOC や NPC、NF などが任意に実施する大会期間前のトレーニングキャンプ。事前キャンプの実施に係る一切の決定権は、実施する各国の NOC や NPC、NF などが有している。大会を構成するものではない。	国が進めている構想で、東京 2020 大会開催に向け、全国の自治体と参加国・地域との人的・経済的・文化的な相互交流を図るとともに、スポーツ立国、グローバル化の推進、地域の活性化、観光振興等に資する目的で実施する。
実施手順	組織委員会が、各施設の管理者に依頼・調整の上、指定する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>各自治体と各国 NOC 等が独自に調整・交渉して協定を締結する。</li> <li>各国 NOC 等に対して国内の事前キャンプ候補地を紹介するため、組織委員会が「TOKYO2020 事前キャンプガイド」を作成。(2016 年 8 月 5 日公表)</li> <li>なお、このガイドに区の情報を掲載する場合は、組織委員会に対する意思表示申請を行い、ID とパスワード付与を受け、所定のページにデータ登録を行う。(ガイド掲載は事前キャンプ誘致の要件ではない。)</li> <li>その他のガイド(掲載は随時。施設基準は組織委員会とは別基準。)</li> </ul> 全国知事会：「Sports Camp Japan」 東京都：「Training Camp in Tokyo」	<ul style="list-style-type: none"> <li>国において、ホストタウン構想への参加意向がある自治体を募集し、登録する。</li> <li>上記を行っても、自治体との交流が見込まれない参加国・地域について国がマッチングし、自治体の登録を促進する。</li> <li>登録自治体に、統一ロゴなど使用許諾、大使館や IOC との連携支援等、一層の気運醸成を図る。</li> </ul>
スケジュール	施設視察 28.2 月 組織委員会から各施設視察依頼  ・公式練習会場の公表 29.夏までに決定	<ul style="list-style-type: none"> <li>「TOKYO2020 事前キャンプガイド」掲載関係のスケジュール                              27.4～30.9 月末 ガイド掲載応募期間                              28.8 月 ガイド公表、各国 NOC 等に情報提供開始(随時更新)</li> <li>事前キャンプの決定時期                              選手団との協議次第だが、通常、大会の 1～3 年前に決定する。</li> </ul>	28.1.26 第一次登録団体公表 28.6.14 第二次登録団体公表 28.12.9 第三次登録団体公表
必要な施設・設備	各競技の施設基準(NF 基準)を満たした体育施設	各競技の施設基準(NF 基準)を満たした体育施設。 宿泊施設(原則として当該自治体の区域内だが、隣接自治体も可能)	特に定めなし
区内対象施設(想定)	スポーツセンター(ハンドボール等) 講道館(柔道)	体育施設 スポーツセンター(室内球技等)、小石川運動場(ブラインドサッカー) ※ 上記のほか、大学等民間の体育施設も活用できる可能性あり。	
費用負担	<ul style="list-style-type: none"> <li>スポーツ施設の整備について、都の補助金あり(補助率 1/2。1 施設あたり上限 1 億円)。</li> <li>公式練習会場仕様への変更の改修については、基本的には都の負担により行われる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>受入自治体の責任と費用負担により実施する。</li> <li>誘致のための施設整備については都の補助金あり(補助率 1/2。1 施設あたり上限 1 億円。)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>受入自治体の責任と費用負担により実施する。</li> </ul>
メリット	<ul style="list-style-type: none"> <li>東京 2020 大会への大きな貢献となる。</li> <li>オリンピック・パラリンピックへの区民等の気運醸成やスポーツ振興に資する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>選手とのふれあい等を通じた国際交流や青少年育成</li> <li>地域の活性化、経済及び広報への波及、区民の気運醸成</li> <li>トップアスリートを見近に見ることでスポーツの振興</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>オリンピック・パラリンピックへの区民等の気運醸成に資する。</li> <li>相手国との国際交流が進展する。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>一定期間、区民等の利用ができなくなる。(練習会場仕様への変更等に伴い、おおむね大会の 2 ヶ月前から使用不可)</li> <li>事前キャンプと時期が重なることが想定される。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>公式練習会場に指定されると事前キャンプの練習会場にはできない。</li> <li>一定期間、区民等の利用ができなくなる。(通常は 1～2 週間だが、1 ヶ月～1 ヶ月半に及ぶケースもある。)。また、急な日程変更等に柔軟に対応する必要がある。</li> <li>選手団と宿泊施設間でのトラブルについても責任は自治体が負う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>相手国や日本のオリンピック・パラリンピアンと区民との交流のために区の施設を使用する可能性あり。</li> </ul>
他区の動向	情報なし	キャンプ決定：世田谷(アメリカ) 「事前キャンプガイド」掲載：港、北、品川、大田、板橋、足立、葛飾 全国知事会：荒川、品川、大田、渋谷、中野、板橋、墨田、足立、葛飾 東京都：港、北、品川、目黒、大田、渋谷、杉並、板橋、練馬、足立、葛飾	都内登録自治体 武蔵野(ルーマニア)、調布(サウジアラビア)、世田谷(アメリカ)、町田(南アフリカ)、文京(ドイツ)
区への対応方向性(案)	組織委員会から区の施設を公式練習会場に指定することについて打診があった場合は、受け入れる方向で調整を行っていく。具体的な受け入れに当たっては、当該施設の使用方法や代替施設、区民との関わり等について交渉を行っていく。	組織委員会・全国知事会・東京都のガイドへの登録申請はこの間見送っているが、29 年夏に発表される公式練習会場指定に向けた動向や、諸々の条件を踏まえて事前キャンプへの対応を決定していくこととする。なお、宿泊施設の意向確認は、事前に行っておく。	第三次登録決定を受け、相手国の大使館や競技団体等と、ホストタウンの事業が実施できるよう交渉を行っていく。

【用語説明】『東京 2020 大会』…「東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会」略称、『組織委員会』…「公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会」略称、『IOC』…国際オリンピック委員会、『NOC』…国内オリンピック委員会、『NPC』…国内パラリンピック委員会、『NF』…国内競技連盟、

## 東京 2020 参画プログラム認証事業報告について

## 1 文京区 東京 2020 公認プログラム認証状況

No.	事業名	実施日	所管課	分野	認証可否	マーク使用媒体
1	文京ユニバーサルスポーツ DAYS	H28. 10. 22	スポーツ振興課	スポーツ・健康	不可	
2	ぶんきょうウォーキング教室	H28. 11. 3	スポーツ振興課	スポーツ・健康	不可	
3	文京スポーツボランティア特別講座 (文京スポーツボランティア養成講座)	H28. 12. 5- 12. 19	スポーツ振興課	教育	認証	次第張り紙
4	文京ミュージズフェスタ	H28. 12. 15	アカデミー推進課	文化	認証	ホームページ
5	ジュニアサッカー教室	H29. 1. 28	スポーツ振興課	スポーツ・健康	認証	チラシ、貼紙 ホームページ
6	文の京スポーツ振興講演会 ジャイアンツと東京ドーム	H29. 2. 15	スポーツ振興課	スポーツ・健康	認証	チラシ、ポスター ホームページ
7	小学生空手体験教室	H29. 2. 12	スポーツ振興課	スポーツ・健康	認証	
8	文京区国際交流フェスタ	H29. 2. 25	アカデミー推進課	オールジャパン・世界への発信	認証	ホームページ、 チラシ・ポスター

## 東京 2020 オリンピック・パラリンピック フラッグツアーについて

### 1 東京 2020 オリンピック・パラリンピック フラッグツアーとは

リオから引き継がれたオリンピックフラッグ・パラリンピックフラッグを東京都内62区市町村で巡回し、各地でフラッグの到着を歓迎するセレモニーと展示を行う。

### 2 主催

東京都  
公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会  
公益財団法人日本オリンピック委員会  
公益財団法人日本障がい者スポーツ協会日本パラリンピック委員会

### 3 文京区実施概要

#### (1) フラッグ到着歓迎セレモニー

フラッグツアーアンバサダー（オリンピック、パラリンピアン等アスリート）による、区長へのフラッグ贈呈式

【日 時】平成29年3月4日（土）午後

【会 場】区民ひろば（文京シビックセンター地下2階）

【参加対象】文京区民

【内 容】オリンピックフラッグ・パラリンピックフラッグの贈呈式、フラッグタイム、フラッグツアーアンバサダートークショー

【ステージ参加】オリンピック・パラリンピック教育推進校（小学校・中学校）へ、各校1名程度のフラッグタイムでのステージ参加を依頼。

【その他】セレモニー終了後、主に子どもを対象に、フォトイベントを実施予定。

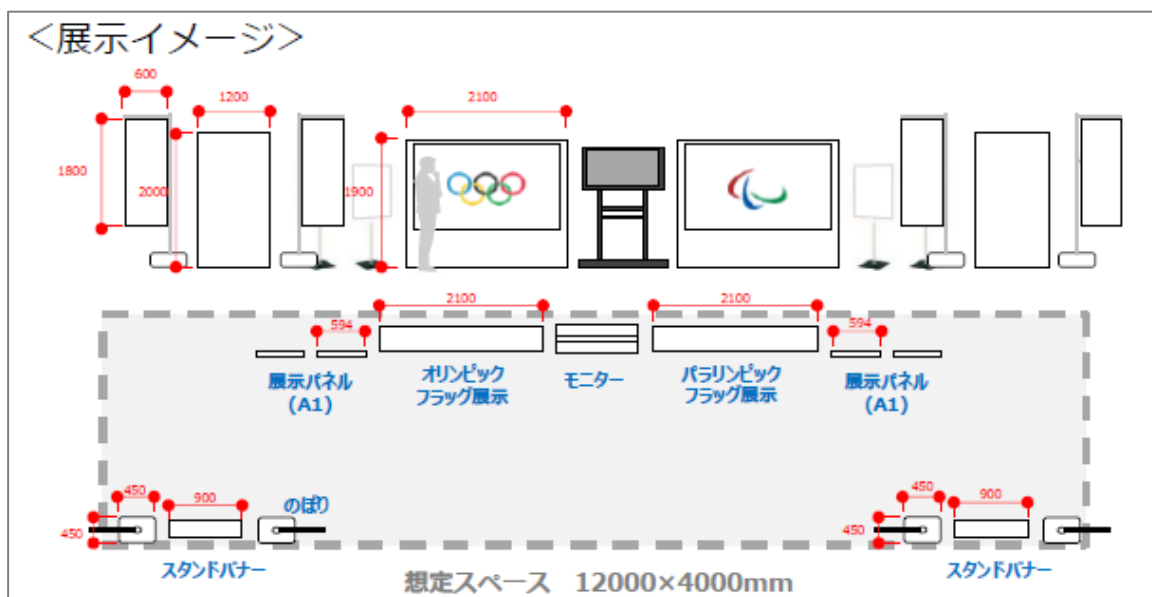
#### (2) フラッグ展示

贈呈されたフラッグの展示

【日 時】平成29年3月4日（土）～3月10日（金）

※セレモニー終了後から展示

【会 場】文京シビックセンター1階（総合受付横）



(東京都「フラッグツアー歓迎セレモニー及びフラッグ展示の概要」より抜粋)

## スポーツ振興等事業費補助金及び 観光インフラ整備支援補助金の活用状況について

### 1 スポーツ振興等事業費補助金 (東京都)

区市町村が東京 2020 大会の開催決定を契機として主体的に実施するスポーツ振興や地域の活性化につながる事業を支援する都の補助金のうち、ソフト事業を対象とする。

大会の理解促進、スポーツの普及啓発、海外の来訪者の受入体制整備、大会を契機とした文化の振興を対象とする「普及啓発等事業」と、障害者が参加できる継続的なスポーツ振興事業、前記以外の障害者スポーツ振興事業を対象とする「障害者スポーツ地域振興事業」の2つの区分に分かれる。

#### ●平成 28 年度活用状況

区分	交付申請事業	交付申請額
普及啓発等事業 (補助率 1/2、上限 500 万円)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2020 年東京オリンピック・パラリンピック気運醸成事業</li> <li>・文京区ポスコン～伝統文化をもっと知ろう！</li> <li>・ジュニアアスリート育成事業</li> <li>・文京スポーツボランティア</li> <li>・女子サッカー応援事業</li> <li>・パブリックビューイング関連事業</li> <li>・スポーツ振興等事業</li> </ul>	5,000 千円
障害者スポーツ地域振興事業 (補助率 4/5、上限 300 万円)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポ・レクひろば</li> <li>・スポーツ施設個人利用促進事業</li> <li>・パラリンピック応援事業</li> </ul>	1,726 千円
合 計		6,726 千円

### 2 区市町村観光インフラ整備支援補助金 (東京観光財団)

東京都が策定した「外国人旅行者の受入環境整備方針」及び「国内外旅行者のためのわかりやすい案内サイン標準化指針」を踏まえて、区市町村が実施する外国人旅行者向けの受入環境を整備することを目的とした取組に対して、それに要する経費の一部を補助する。

1 区市町村当たり、平成 27 年度～31 年度までの合計上限 1 億円 (補助率 1/2)

年度	回数	交付申請事業名	交付申請額
27 年度		申請実績なし	
28 年度	第 1 回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文京区コミュニティバスルートマップ (英語版) の印刷</li> <li>・森鷗外記念館の解説の多言語化</li> <li>・多言語観光案内リーフレットの作成</li> <li>・おもてなし英会話講座</li> </ul>	3,277 千円
	第 2 回	・ウェルカム商店街	720 千円
	第 3 回	・文京区無料公衆無線 LAN 環境整備	5,538 千円
合 計			9,535 千円